

「Society5.0時代のヘルスケア(その2)」

日時：2019年5月24日(金) 15時00分-17時00分
会場：中央大学駿河台記念館3階330号室(最寄駅 JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩約3分)
<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>
主催：横幹技術協議会、横幹連合
参加費：横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料、
その他2,000円(資料代含む)。当日資料代：1,000円(希望者のみ)
参加申込：【事前登録】オンライン申込 (http://www.trasti.jp/forum/forum53_kyg.html)

【企画趣旨】

人間中心の超スマート社会 Society5.0 において、ヘルスケア分野は重要領域の一つです。バイオや AI といった技術による病気の新たな治療や予防を通じて、健康寿命の延伸が期待されます。一方で、次世代の保健医療システムの実現に向けては、技術課題だけでなく、医療保険制度やプライバシーといった社会制度や倫理面での課題も山積しています。

このように、Society5.0 時代のヘルスケアに関しては、議論を深めるべきテーマが非常に多岐にわたり、まさに知の統合が求められます。そこで、一回のフォーラムで終わりにするのではなく、複数回に分けて、様々な視点で有識者から話題提供いただき、討論するという形式でフォーラムを開催することにしました。

その第二弾として、千葉大学予防医学センター教授の近藤克則氏に学際研究によるゼロ次予防の可能性についてご講演いただき、議論を深めます。

【プログラム】

| | | |
|----------------------|--|--|
| 15:00-15:10 (10分) | 開会あいさつ | (敬称略) 総合司会: 赤津雅晴(株式会社制作所・ 横幹技術協議会 理事) 桑原 洋 (横幹技術協議会 会長) |
| 15:10-16:10 (60分) | ◆演題 「学際研究によるゼロ次予防の可能性—暮らしだけで健康になるまちづくり」 | 近藤克則 (千葉大学予防医学センター教授) |
| 16:10-16:15 (5分) | 休憩 | |
| 16:15-16:55 (40分) | ◆討論 | |
| 16:55-17:00 (5分) | 閉会あいさつ | 北川源四郎 (横幹連合 会長) |

演題

学際研究によるゼロ次予防の可能性－暮らすだけで健康になるまちづくり

◆ 近藤克則（千葉大学予防医学センター教授）

暮らしている人たちの認知症発症率が4割減ったまちがある。その中に暮らす人々の行動を規定する社会経済的、環境的条件を明らかにして、暮らすだけで健康になれる社会を設計する。それがゼロ次予防である。そのためには、都市計画から情報・社会システム、コミュニティのありようなどが、どのようなメカニズムで、人々の心理・社会的・身体的行動を規定しているのかを明らかにする必要がある。これぞ学際的な研究者集団と企業連合が取り組むに値する課題ではないか。その可能性を考えたい。